

## 兵庫県南部地震から一年

### 犠牲者追悼と復興へ願い込め

六千人以上の犠牲者を出すなど大きな被害に見舞われた兵庫県南部地震から一年が経過しようとしている。現地では復興への取り組みが着実に続けられているものの、いまだに震災の爪痕が残され、一瞬のうちに家族を失い、財産を失った多くの市民の心の傷が癒されているとは言えないのが現状だ。十七日の一周忌を中心にして、各宗教教団や仏教会などの諸団体などが、犠牲者を追悼し、一日も早い復興を願って追悼法要、慰霊法要などを勤める。こうした各教団、諸団体の取り組みをまとめてみた。

### 早暁からの慰霊行脚

#### 神戸市仏全日仏青

#### 灯明と聖歌による市民法要大阪でも

被害の最も激しかった神戸では、神戸市仏教連合会（廣瀬照晴会長）と全日本仏教青年会（水谷栄寛理事長）などが共催で十七日、「阪神・淡路大震災一周忌／全国仏教徒慰霊行脚／神戸結集」を実施する。全国から僧侶や一般市民約九百人が参加、大規模な慰霊行脚が繰り広げられる。

同結集は、神戸市仏教連合会のほか、全真言宗青年連盟、天台仏教青年連盟、全国浄土宗青年会、全国日蓮宗青年会、全国曹洞宗青年会、浄土宗西山禅林寺派青年会の各宗派青年会六団体や埼玉、神奈川、大阪、神戸など府県単位の仏教青年会、南無の会、地元神戸の青年仏教徒会、浄土真宗本願寺派東京教区青年僧侶協議会、臨済宗妙心寺派兵庫教区宗務所などが共催。

同日、地震発生時刻の午前五時四十六分に市内の全寺院で打ち鳴らされる梵鐘の音を合図に、参加者が七班に分かれて各行政区ごとに慰霊行脚を行なう。行脚のあと、兵庫区の時宗・真光寺に再び集まり、午前十時半から合同の慰霊法要を厳修する。

法要後、全真言宗青年連盟は神戸市ひよどり越墓園（無縁墓地）と真言宗須磨寺派大本山須磨寺で、全国曹洞宗青年会は午後一時から長田区御蔵菅原地区で、それぞれ慰霊法要を営む。

大阪でも府下仏教七団体が共催で、十六日午後六時半から大阪市北区梅田の太融寺で「阪神・淡路大震災一周忌追悼市民法要」を執り行なう。第一部は「灯明と聖歌による一周忌追悼市民法要」が営まれ、第二部は中田武仁氏の記念講演となっている。

法要では震災で亡くなった六千二百人の御霊に捧げる灯明が供養されるが、灯明の志納金の一部は、大阪のボランティア団体「BVおおさか」の今後のボランティア活動の準備資金に活かされることになっている。

### 座主導師に兵庫大仏で 天台宗

一方、各教団単位でも独自の一周忌法要などが計画されている。

天台宗（杉谷義純宗務総長）では、十六日午前十一時から兵庫大仏で知られる神戸市兵庫区北逆瀬川町一ノ三九の能福寺（雲井世雄住職）で、兵庫教区災害対策本部、天台宗務庁、総本山比叡山延暦寺の共催により、一周忌法

要が勤められる。法要は梅山圓了天台座主を導師に、宗務庁、総本山の役職者らも出仕して、教区代表の式衆により営まれる。

同寺境内では兵庫教区仏青らが中心となって、ぜんざいの炊き出しも行なわれる。能福寺は震災を受けながらも、救援活動の拠点として、有志僧侶やボランティア団体による炊き出しが行われたり、物資輸送のキーステーションとなっていた。

翌十七日は延暦寺で、梅山座主を導師に一山式衆の出仕で一周忌法要が奉修される。

---

## 京都からの念仏行脚

### 神戸文化ホールで一宗法要

#### 浄土宗

浄土宗（成田有恒宗務総長）では、十九日午後一時半から神戸文化ホールで、中村康隆浄土門主を導師に震災一周忌法要を執り行なう。檀信徒の被災者の家族など約一千人が参加し、全員で菊花を捧げるなど、犠牲者を追悼する。

また、総本山知恩院（牧達雄執事長）でも十七日午前十時半から御影堂で中村門主を導師に一周忌法要を執り行なうほか、全国浄土宗青年会（神田眞晃会長）は、十四日から十七日までの四日間、犠牲者への回向・追悼のために総本山知恩院から神戸までの八十二キロを念仏行脚する。十四日午後一時に総本山知恩院を出発、十七日には震災後救援基地となった尼崎市の常楽寺で午前五時半から一周忌法要を執り行なったあと、さらに神戸に向かい、午後三時から伊藤省三住職が犠牲となった東灘区の西福寺で一周忌法要を営む。四日間、知恩院のともし火をリレーで神戸に運ぶことにしている。

浄土宗西山禅林寺派（五十嵐隆明宗務総長）では十六日午後一時から、神戸市兵庫区中之島の阿弥陀寺（澤木亮道住職）で犠牲者の一周忌法要を執り行なう。法要では森準玄管長が導師を勤めるほか、五十嵐宗務総長ら一宗要職者らも出席し、犠牲者を追悼する。

---

## 全檀家で蠟燭灯し

### 高野山真言宗淡路支所

高野山真言宗（新居祐政宗務総長）では当日の午前五時四十六分、全国の各寺院・教会で追悼の打鐘を鳴らすとともに、供養の法要を執り行なう。高野山では金堂で午前九時から、稲葉義猛管長の導師により「阪神・淡路大震災物故者一周忌追悼法会」を営む。

高野山真言宗青年教師会はとくに独自の行動をとらず、全日本仏教青年連盟や全真言宗青年連盟等が主催する全国仏教徒慰霊行脚神戸結集に合流する形となる。

兵庫宗務支所では、各寺で檀家の被災者を中心とした物故者追悼法要を執り行なう。震源地だった淡路では、淡路宗務支所が支所下全寺院にロウソク二本ずつ配布した。ロウソクにはそれぞれ「阪神淡路大震災物故者供養」「地鎮天地安穩祈願」と書かれている。十七日の午前五時四十六分に鐘を打ち鳴らした後、ロウソク二本を灯して勤行する。また同じ言葉が書かれた小さいロウソク二本と線香十本を同支所下の全檀家約二万軒に配布し、十七日に各家の仏壇にまつて物故者の追悼をするよう依頼した。

真言宗豊山派総本山長谷寺（吉田俊誉化主）では十七日午前七時から、また東京の豊山派宗務所でも同日午前十時からそれぞれ犠牲者の一周忌法要を営む。

真言宗智山派でも総本山智積院（高井隆秀化主）で、十七日午前六時の勤行の時、一周忌追悼法要を営むほか、二十一日の初大師の日にも、犠牲者追悼の特別法要を勤める。

神戸市西区にある真言宗大覚寺派準別格本山西光寺では、十六日午後七時から大震災犠牲者の「追悼と鎮魂の夕べ」が、十七日午後一時から「一周忌追悼法会」が行なわれるほか、十五日から二十一日までチャリティー名僧墨跡展も開かれる。墨跡展に寄せられた浄財は神戸市民福祉振興基金に寄付する。

#### 15日 犠牲者を偲ぶ法要 臨黄合議所

臨黄関係では、臨済宗黄檗宗連合各派合議所（小倉宗徳理事長）が十五日午後二時から神戸市中央区の神戸仏教会館で「犠牲者を偲ぶ法要」を厳修。法要後、松原泰道氏が追悼講話を行なう。

また、黄檗宗青年僧の会（浅野英俊会長）は十八日午後七時から、被災寺院の一つである神戸市北区の温泉寺で、犠牲者の鎮魂と震災復興を願って「大般若転読法要」を厳修する。

## 門主親修で総追悼法要

### 本願寺派

震災で一千二百人以上の寺族・門信徒を失った浄土真宗本願寺派（松村了昌総長）では十七日午前十時半から本山の西本願寺阿弥陀堂で、大谷光真門主の親修により、全ての物故者の総追悼法要を営む。法要後、中西智海中央仏教学院長が法話を行なう。

一方、神戸市中央区にある神戸別院（土基謙教輪番）でも、二十日午後一時半から同別院本堂で「震災物故者一周忌総追悼法要」を執り行なう。

## 神戸市中央体育館に三千人

### 日蓮宗

日蓮関係では、日蓮宗（奥邨正寛宗務総長）が十七日午後一時半から、神戸市中央体育館で「阪神大震災物故者一周忌慰霊法要」を営む。宗門の僧俗を問わず、広く一般にも参列を呼びかけており、申し込みは約三千人を超えている。

法要後、藤崎一明京都府第二部宗務所長による法話も行なわれる。

法華宗本門流（川口日唱宗務総長）でも十六日午後一時から尼崎市の大本山本興寺で、同寺と京都・本能寺との二本山主催のもと、「阪神・淡路大震災犠牲者一周忌法要」を営む。大平日晋本興寺貫首が導師を勤める。同法要と並行して本興寺境内では午前十時から午後四時まで、二本山貫首の染筆や『無上道』の表紙絵や挿絵を担当している画家藤原みてい氏提供の絵、婦人会提供の日用品などのチャリティー・バザーも行なわれる。

また本門佛立宗（小山日誠宗務総長）では、一月十一日に執り行なわれた弘通立誓式に併せて一周忌法要を本山有清寺で厳修。弘通顧問や支所長、布教区長、弘通担当参与など全国の代表者の参詣のもと、御牧日勤講有の導師で執り行なわれた。

同宗では、一月六日から恒例の寒参詣が全国寺院教会で実施されているが、この寒参詣中に各寺院教会で一周忌法要が営まれる。ことに阪神、神戸、播但、大阪などの各布教区では正当の十七日に営まれることになっている。

# 「阪神ルネサンスの日」に

## 全国会館で追善勤行法要

### 創価学会

創価学会（秋谷栄之助会長）でも十七日を中心に、関西〈方面〉をはじめ全国の会館で兵庫県南部地震の犠牲者全員を悼む追善勤行法要を厳粛に執り行う。

昨年十月に開催された「二十一世紀兵庫希望総会」の席上、一月十七日を「阪神ルネサンスの日」とすることを決定。この日を“兵庫の復興と新世紀への出発の原点”と位置づけている。

関西〈方面〉および兵庫各〈県〉で追善勤行法要が行われるほか、兵庫総県では震災発生時刻の十七日午前五時四十六分から、兵庫池田文化会館で法要を営む。さらに本年から全国でスタートした「新世紀大座談会運動」に合わせて、兵庫県、大阪府の各座談会会場でも、追善の意義をとどめる勤行が行なわれることになっている。

全国では各方面の中心会館や恩師記念室等を使って法要が行われる。

関西〈方面〉および兵庫各〈県〉の追善勤行法要の日時と会場は次の通り。

- ▽関西〈方面〉＝十七日午前十時半・関西文化会館（大阪市天王寺区）
- ▽兵庫総県＝十七日午前十時および午後一時・兵庫池田文化会館（神戸市中央区）
- ▽東神戸〈県〉＝十四日午前十一時・灘文化会館（神戸市灘区）、同・兵庫池田文化会館、同日午後一時・神戸講堂（神戸市東灘区）、同・神戸北文化会館（神戸市北区）
- ▽西神戸〈県〉＝十四日午後一時・長田文化会館（神戸市長田区）、同・垂水文化会館（神戸市垂水区）
- ▽常勝播磨〈県〉＝十七日午後一時・明石文化会館（兵庫県明石市）、同・加古川文化会館（兵庫県加古川市）
- ▽尼崎〈県〉＝十七日午後七時・尼崎文化会館（兵庫県尼崎市）、同・淡路島文化会館（兵庫県緑町）
- ▽創価西宮〈県〉＝十七日午後一時および同七時・西宮池田講堂（兵庫県西宮市）
- ▽姫路〈県〉＝十七日午後一時半・姫路文化会館（兵庫県姫路市）
- ▽北兵庫〈県〉＝十七日午後七時・和田山会館（兵庫県和田山町）

---

2月11日

## 信奉者大会開く 金光教

### 弓弦羽神社神事に協力 黒住教

一方、金光教（津田貴雄教監）でも独自に震災復興と犠牲者の追悼のための大会を開く。金光教西近畿教務所（田村寛起所長）と西近畿教会復興委員会（瀬崎庫敏委員長）の共催で二月十一日午後一時三十分から神戸市中央区の神戸国際会館ハーバーランドプラザで「阪神・淡路大震災復興金光教信奉者集会」が開かれる。

同大会では、震災犠牲者の追悼式が執り行なわれるほか、「ここからの復興をめざして」と題して津田教監の基調講演、二人の信奉者代表の体験発表、また金光学園音楽部吹奏楽団によるコンサートなども行なわれる。

黒住教（黒住宗道教嗣）では、同青年連盟が、震災で被災した神戸市東灘区の弓弦羽神社の“大縄づくり”に協力している。同神社では震災で断念した伝統のだんじり祭りに代えて、心と心を結び合わせるという願いを込め、各家庭で不用になった古着やタオルなどをつなぎ合わせ、大縄を作っている。十七日の夜、復興と再生を願った神事のあと、大縄を焚き上げ、鎮魂の送り火とする。十七日の神事には黒住教嗣も出席する。また岡山市の本部神道山でも大教殿で犠牲者への追悼を捧げ、復興を祈る。